恩師からのお便り

松田正義先生（旧制国語担当）

「ともかき」11号ありがたく拝受、拝読いたしました。特に石関力太郎氏の「同窓会の歩み」をなつかしく拝見いたしました。去る10月27日（昭和六十二年）の同窓会（文京区民センター。今尾淳子さんら幹事。四十数名参集）に出席いたしましたことと併せて、半世紀の時間が逆転したような思いを深くいたしました。その際本紙掲載の歌集「風速計」を平田八千代さん（14年卒）からいただきました。卒業生がそれぞれに活躍している様子を見聞して、この上なく心強く思った次第です。六十周年式典の盛会を祈り致します。

手許に名簿らしいものが、ほとんどありませんので、最新刊のものをお恵み下さい。お願いいたします。

本年になってから、五十四年版の名簿をお送り申し上げました処、『名簿をご恵送下さいまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます』。というお葉書を頂戴いたしました。

同窓会だより

○田治孝子（旧田崎）8卒

昭和六年働きながら通学した母校は丸山文作校長先生、伊井先生、武田先生、音楽の河野先生なつかしい先生方のお顔が七十才古稀の今日でもはっきりと思い出されます。只今は箱根の山に恵明学園という養護施設を開いて三十七年の月日を経、沢山の恵まれない子供達を送り出し、卒業生の年長者は四十才を越した子がトップで毎年進学する子就職する子を送り出して居ります。十七回の田崎泰子は弟の嫁で一緒におります。

○平田八千代（旧比留間）14卒

「ともかき」十一号ありがとうございました。会長様はじめ諸友のご努力により、毎年なつかしい、豊かな頁をたのしんでおります。また今回は拙著（歌集風速計）の紹介を載せていただきまして、思いがけぬ嬉しきでございました。貴重な頁をありがたくお礼申し上げます。六十周年記念行事心待ちいたしております。

○白鳥婦じ（旧栖原）18卒

「ともかき」ありがとうございます。なつかしく読ませていただきました。もう卒業から四十年余りになりますが、当時のことが、昨日のことのように想い出されます。在校生の皆様だんだん寒くなりますのでお身体お大事におはげみ下さい。孫の守りと合間をみつけては自分の楽しみとしております。

○濁川久美（旧高野）19卒

「ともかき」お送りいただき有難うございました。皆様のご活躍振りがうかがわれ、本当に嬉しく存じます。今年は級会（熱海）十月にも出席でき て良かったと思っております。六十周年の同窓会も元気で迎えられますようたのしみにしております。

○小林利江（旧栗本）39卒

「お母さん達とは時代が違うんだ」と力説する二人の高校生を持ち、悪戦苦斗しております。あの頃と子供の気持がそう違うとは思わないのですが、物事に対して純粋さが欠けている事は事実のようで親として、さびしく、悲しい気持で子供達をみております。

このような子供達ばかりではないでしょうが、熱中するものを持てない子供達が多勢いることは見のがせないことのようです。タイムマシーンに放りこんであの高校生活を味わわせてあげたい気持です。在学中バレー部に籍を置かせていただきまして、とても楽しい高校生活を過させていただきました。その楽しさが今でも忘れられず現在も、コートの中で白球を追い、苦しくも楽しい汗を流し、共に練習する仲間との連体感をしみじみと感じながら、過している現在です。

恩師の消息

○　重原昌二先生（社会）
（昭和39年～41年在職）
今春、都立水元高等学校校長に栄転されました。

○　山下紘一郎先生（社会）
（昭和50年～55年在職）
今春、都立日比谷高等学校（全日制）に転任されました

◇母校職員の異動◇

○転任
山田美千代さん（給食）
都立大付属高校へ

○退任
奥平象二郎先生（数学）
都立本所高校（定）嘱託員

○着任
三浦一康先生（数学）
都立青山高校（定）から
小佐々雄子さん（給食）
都立青山高校（定）から

◇会員29年4組卒竹内　務先生は目黒区第六中学校教頭へご栄転になりました。

昭和62年度『北原奨励賞』受賞者〝小原友子さん〟

今回で五回目となるこの北原三代子先生のご意志による「定時制生徒の勉学に役立てて欲しい」との記念賞が毎年卒業式に授与されることになっている。

次の写真の通り、本年度も石田会長より手渡された。

○現在迄の授賞者
第1回　小杉利一
第2回　小宮山美鈴
　　熊倉樹仁緒
第3回　今井フミ
第4回　荻野善郎

名簿改訂にご協力を!!

わが同窓会名簿は今までに二回発行されておりますが、六十周年を契機に現名簿の全面改訂を進めております。この五十四年版では学校に保存されている卒業生台帳と照し合せ、昭和七年以来の卒業生を網羅し、正確を期しましたが、いかんせん住所の分らない者が多く理想に程遠い名簿でした。

五十周年後、毎年発行された「ともかき」を通じて、会の活動が理解され、次第に住所の判明率もよくなって来ましたが、今だに卒業生五千に及ぶ総数のうち三分の一程しか分っていません。今回の改訂では二分の一ないし三分の二以上を把握しようと鋭意取組んでおります。その手立ての一つとして一般新聞を利用して呼びかけたり、また当時の担任の先生に連絡をとり、地名変更、結婚などによる改姓などがありましたら、母校内青葉会宛ご連絡下さい。また各クラス、各期の幹事さん、グループのお世話をなさっている方は、現在分っている分だけでも会の方にご通報下さい。

なお、今回の改訂では、ご要望のある職業欄も設け、社名、電話番号などを載せることになりました。

情報社会の昨今何かと意味のある企画と思います。差支えない限り、この点についても、ご理解とご協力をいただきたいと存じます。

ご存知のように昨今は学校の学籍簿に本籍の記入欄が無いので問合せが困難です。

ご協力いただくなど改訂委員は努力している処です。

この様な現状を会員の皆様にご理解いただき住所移転、

石田技研株式會社
代表取締役　石田　弘（昭29卒）
〒144 東京都大田区羽田旭町1－1
TEL 03（744）2211（大代表）

○病院用経管チューブ食
○濃厚流動食等特別配合食品
○Food Supplement製造卸

サンコーパック株式会社
代表取締役　川上忠重（昭和30年卒）
東京都新宿区四谷1丁目3番地
〒160　TEL03－357－7730(代)